明日を見たくて

クリム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明日を見たくて

【Nコード】

N7405K

【作者名】

クリイム

【あらすじ】

現代少年が抱えている不安の世界を、携帯電話を中心として書いたものです。

鍵を開ける

部屋に入る

ガラガラと澄んだ音の奥に広がるのは

ただただ暗い闇だ

少年は携帯電話の電源を切った

いつもなら

電気をつけ、テレビをつけて

明るさを取り戻していた

でも今日は外観だけの明るさなんていらぬ

少年は何も考えたくなくてベッドに倒れこんだ

どうしようもない不安からの唯一の逃げ道であると信じて

少年は泣いていた

別に不安があるといつても、明確な問題があるわけではない

勉強もでき、サークルにも参加し、友人だっている

普通の学生と世間様からは思われているんだらう

ただ彼は少しだけ・・・ほんの少しだけ臆病なんだ

つまらない人間だと思われたくない

だから自分が話題の中心になるのが怖い

友人との会話が煩わしい

それゆえ必要以上に人と接する時間を短くする

メンドクサイの言葉で逃げてみる

都合のいい用事を作ってみる

少年はズボンのポケットから携帯電話を取り出した

最近少年が一番恐れているモノだ

メールに電話、二十四時間いつでも誰かから監視されている気がして怖い

もうやめてくれ

今日は十分に話したじゃないか

一人で居たいんだ

だから少年は家に帰ると携帯電話の電源を切るようにした

無論、それが正しいとは思っていない

いずれ友人たちが離れていくのかもしれない

ずっとこの先臆病なままなのかもしれない

そんな考えが少年の心をなおさら乱した

少年は左手の携帯電話をソファーに投げ捨てた

枕に顔をうずめて心の中で叫んだ

今日も満足に過ごせないやつが

明日を見る資格があるのか

でも少年は思った

何が正解かなんて分かるわけがない

無理しないでも、無理しても

先のことなんて分かるわけがない

ただ今は

暗闇の中、誰にも知られたくないこの孤独を

ただ誰かに分かってほしい

彼はソファーの上の携帯電話に右手を伸ばした

彼は携帯電話の電源をつけた

暗闇の中でディスプレイに光る名前

その人が彼のことを分かってくれるかなんて分からない

でも

彼は言ってみただ

「もしもし・・・」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7405k/>

明日を見たくて

2010年10月20日18時06分発行